



令和7年度 第1回 官民連携講座

第1部

地方創生SDGs官民連携プラットフォームとは?

内閣府地方創生推進事務局

1. 地方創生SDGsについて

2. 地方創生SDGs官民連携プラットフォームについて

SDGs とは

- ▶SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) は、 「誰一人取り残さない」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標。
- ▶ 2015年9月の国連サミットで全会一致で採択。
- ▶誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、 2030年を年限とする17の国際目標が決められる。

【実施のための主要原則】(SDGs実施指針より)

●普遍性:先進国を含め、全ての国が行動

包摂性: 人間の安全保障の理念を反映し、「誰一人取り残さない」

●参画型: **全てのステークホルダーが役割 を**

●統合性: 経済・社会・環境に**統合的に取**

透明性: 定期的にフォローアップ



貧困



飢餓



保健



教育



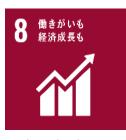
ジェンダー



水·衛生



エネルギー



経済成長 と雇用



インフラ、産業化、 イノヘ^{*}-ション



不平等



持続可能な 都市



持続可能な 消費と生産



気候変動



海洋資源



陸上資源



平和



実施手段

ロゴ:国連広報センター作成

「地方創生」と「SDGs」

まち・ひと・しごと創生法 (2014年制定)

▶ 日常生活及び社会生活を営む基盤となるサービスについて、その需要及び供給を長期的に見通しつつ、かつ、地域における住民の負担の程度を考慮して、事業者及び地域住民の理解と協力を得ながら、

現在及び将来におけるその提供の確保を図ること。

(第2条の二 基本理念)

地方創生2.0 (2025年基本構想閣議決定)

▶我が国の成長力を維持していくためには、 都市も地方も、そして性別や世代を問わず、 楽しく、安心・安全に暮らせる 持続可能な社会を創っていく必要がある。

SDGs

- ▶経済・社会・環境の統合化と好循環による持続可能な地域を目指す。
- ▶民間企業の価値創出を通じて持続可能な開発を実現する。



SDGs未来都市等による普及啓発・意識動機付け (画像: 今和6年度SDGs未来都市選定証授与式)

地方創生×SDGs=持続可能なまちづくり

出典:村上周三氏_令和5年度地方創生SDGs公開講座資料

地方創生SDGsがなぜ必要なのか

地方自治体を取り巻く課題

- ▶地域課題が複雑に、さらにグローバルに
- ▶地域課題の解決には経済・社会・環境の三側面を統合した好循環の形成が必要であり、 民間企業・大学・市民等との連携が不可欠な状況

SDGsを原動力とした地方創生(地方創生SDGs)

持続可能なまちづくりや地域活性化に向けた取組の推進に当たり、SDGsの理念を取り込むことで、政策の全体最適化、地域課題解決の加速化という相乗効果が期待できます。

SDGsの「17の目標」という明確な指標が住民、議会に理解されやすい

全世界が取り組んでいる 目標であり、世界と志と 手法を共有できる。 企業はSDGsの取組が 資金調達に繋がるため、 SDGs事業から新ビジネ ス創出へとつながる。



地方創生SDGsがなぜ必要なのか

事例紹介)進まない国産木材の利用について

国産木材の利用には、以下のような各種ボトルネック(障害)が存在しており、それぞれがSDGsの「17のゴール」に関連している。



例①林業の担い手不足・高齢化

- ・林業従事者の高齢化、若手の担い手不足
- ・森林の手入れや伐採が不十分になることも
 - ●地域雇用







- ●国土保全
- 15 Hothres
- ●健康·快適



例②流通・供給体制の課題

- ・国産材は地域ごとに生産体制が異なる
- ・加工施設や乾燥設備が不足している地域も
 - ●技術開発





●グリーン生産・ 消費・流通



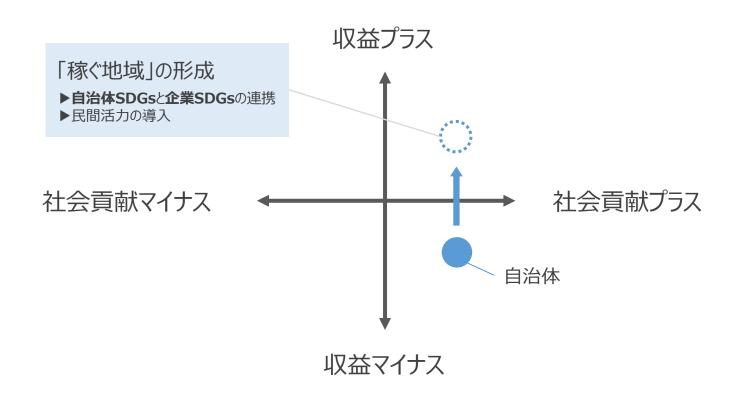




SDGsの統合的取組によるボトルネックの解消が必要

出典:村上周三氏_令和5年度地方創生SDGs公開講座資料

- ▶自治体は収益団体ではないが、「稼ぐ地域」の形成のための自治体経営が求められる。
- ▶自治体と企業の連携による地域経済活性化と社会課題解決が不可欠。



出典:村上周三氏_令和5年度地方創生SDGs公開講座資料

▶「稼ぐ地域」の具体化に向け自治体・企業・金融機関の連携による 自律的好循環の形成が重要となる。

自律的好循環の形成スキーム図			

▶「稼ぐ地域」の具体化に向け自治体・企業・金融機関の連携による 自律的好循環の形成が重要となる。

自律的好循環の形成スキーム図

地域企業の取組

自治体や大手企業と連 携し事業を実施

▶「稼ぐ地域」の具体化に向け自治体・企業・金融機関の連携による 自律的好循環の形成が重要となる。

自律的好循環の形成スキーム図

地域企業の取組

自治体や大手企業と連 携し事業を実施



SDGsの取組に 基づく連携

地域金融機関による支援

大手金融機関と連携

▶「稼ぐ地域」の具体化に向け自治体・企業・金融機関の連携による 自律的好循環の形成が重要となる。

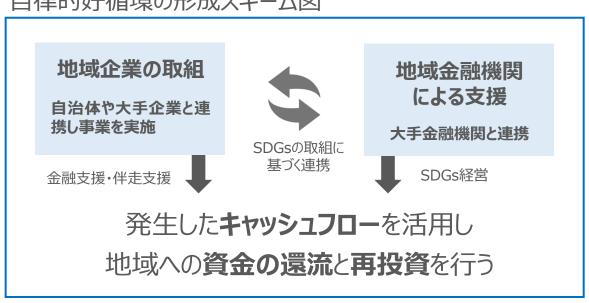
自律的好循環の形成スキーム図



出典:村上周三氏_令和5年度地方創生SDGs公開講座資料

▶「稼ぐ地域」の具体化に向け自治体・企業・金融機関の連携による 自律的好循環の形成が重要となる。

自律的好循環の形成スキーム図



地域企業と地域金融機関が連携して**新たなキャッシュフロー**を生み出す これを地域に**再投資**して**「稼ぐ地域」**を実現する

出典:村上周三氏_令和5年度地方創生SDGs公開講座資料

なぜ官民連携が推進されているのか

自治体:地域課題を積極的に外部へ提示し、アイデアを広く募ることで課題解決を図る

民間団体:地域課題に対して、技術・ノウハウ等を提案することで事業機会を創出

官民双方におけるメリット

自治体

- ✓ **自治体単独では解決が困難な地域課題の解決**、 解決までのスピードアップ
- ✓ 地域課題解決に向けたアイデアを 全国から募ることで解決策の幅が広がる
- ✓ まずは新たなアイデアの募集という形での
 官民連携も可能(予算の準備は必須ではない)
- ✓ 雇用の創出や地域経済の循環につながる

官民連携=課題解決の有効な手段

民間団体

- ✓ 自社が持つ**課題解決につながる技術**やノウハウを外部にPR
- ✓ 官民連携の経験による企業の成長
- ✓ 地域貢献により社員のモチベーションの向上や 新たな人材確保につながる
- ✓ 地域の情報を取得
- ✓ SDGsの取組に対する社会的評価の獲得

自治体の課題 = 企業のビジネスチャンス

1. 地方創生SDGsについて

2. 地方創生SDGs官民連携プラットフォームについて

地方創生 SDGs 官縱民連携 プラットフォーム 🐷 🥦



官民連携プラットフォームの特徴 ~国内最大規模の官民プラットフォーム~

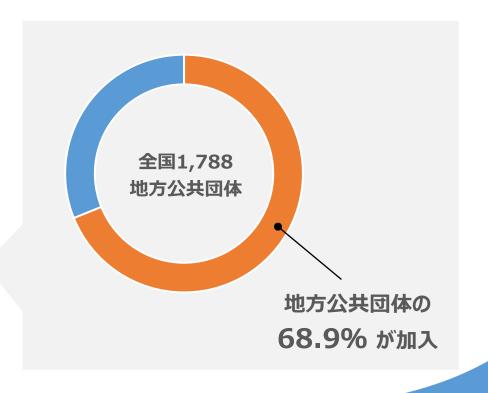
会員数

8,007 団体

うち地方公共団体数

1,233

※令和7年6月30日現在



地方創生SDGs官民連携プラットフォームについて

- -地方創生SDGs官民連携プラットフォームとは-
- ・地域課題の解決に向けて、官民連携による具体的なプロジェクトを創出
- ・SDGsの達成と地方創生を実現するマッチングプラットフォーム

マッチング支援

- ・会員に向け地域課題を公開、登録されている地域課題に対する解決策の提案によるマッチング
- ・官民連携に対する相談や助言を受けることができる伴走支援窓口
- ・直接意見交換や相談・情報収集ができる対面型マッチングイベント「官民MEET」
- ・オンラインで官民連携について学ぶことができる官民連携講座



分科会活動

- ・会員が**自主的なテーマ**に基づいて設置・運営するコミュニティ
- ・課題や知見を共有し、取り組みを具体化することにより、プロジェクト創出を目指す場
- •会員であればだれでも参加可能で、新たな分科会の設置を申請すること可能





地方公共団体等



官民連携について情報収集がしたい

官民連携の具体検討が必要





域内に事業者が少ないので 全国から提案を求めたい



地域課題の登録

→地域の課題や困りごとを登録し、 民間団体からの知見やノウハウを等解決のアイデアを募る

まずは<mark>地域課題の登録</mark>を! 登録に際しての予算化は不要です



民間企業·団体等

地域の社会課題解決に 貢献したい





自治体との接点を探したい

官民連携事業を幅広く展開したい





解決策を提案

→自団体の知見やノウハウで解決に資する課題に対し、 解決策の提案を行うことでPRやビジネスチャンスにつながる

> 自治体のニーズに寄り添った 解決策をご提案ください!

■自治体による粗大ごみのネット販売等でのごみ削減とリユース推進

- > ごみ処理費用の増加と環境負荷が全国的な課題
- ▶ 粗大ごみのリユースを促進する取組を実施
- ▶ リユースできる粗大ごみを民間のECプラットフォームを活用して販売

ネットショップ運営、商品選定・発送



蒲郡市(他2市)が出店まだ使える粗大ごみを販売



ECプラットフォーム提供、運用支援

メルカリのECプラットフォーム。 「メルカリShops」を活用



市民に対してリユースを促す施策を展開→市民の意識醸成・デジタルディバイド対策 メルカリエコボックス(不要品を家庭で分別・リユース)、メルカリ教室(高齢者などICTに不慣れな層にも対応)

➡官民の取組に市民の連携を図り、循環型社会実現に向けて協力を働きかけ

<取組のポイント>

- ・基本的に費用負担なし(販売した場合、売却費用の10%が手数料)
- ・ごみの排出量の削減/リユース推進/循環型社会実現に向けた市民参加
- ・リユース→販売について市民へ理解促進/市民と協働して実現する仕組みの構築
- ・他自治体でも展開可能/全国に広がることでごみ減量とリユース促進をさらに進展できる可能性









伴走支援事業者とのマッチング

プラットフォームが「伴走支援事業者」を設置 自治体が、「伴走支援事業者」に支援を依頼<u>(=伴走支援事業者とのマッチング)</u> 伴走支援事業者が、課題整理・言語化、計画策定、資金調達、連携事業者紹介等を支援







➡件走支援事業者が、課題整理・言語化、計画策定、資金調達、連携事業者紹介等を支援 ※ご相談内容によって有償の場合がございます。ご利用の際に伴走支援事業者へご確認ください。

「わからない!」「困った!」があれば、まずはご相談ください

対面型マッチングイベント「官民MEET」

マッチング

分科会

- ・自治体にご登録いただいた課題の解決に向けて、民間・団体がSDGs推進の観点も踏まえた技術・ノウハウを提案
- ・自治体と民間・団体にて、1対1の意見交換をしていただきます



令和6年度に開催したイベントでは、

全国各地で全5回開催し、延べ1600件の面談 が実施されました

今年度も開催!



^{誰でも} 2025年9月4日 (木) ス場無料 ステラホール (梅田スカイビル) 2025 **9/4** THU 2025年度はさらに

グレードアップして開催!

地域資源を活かした まちづくり

子育て世帯が 住みやすい まちづくり

環境に配慮した まちづくり



分科会

令和6年度に設置された分科会の検討テーマ例

設置された分科会は新規・継続合わせて24

異分野連携や、共通課題に対する官民連携を促進し、地方創生に資するプロジェクトを創出

企業版 ふるさと納税	SDGs·CSR· 環境経営	産学官民 教育連携	IDGs	製品安全· 消費者安全	多様な働き方
SDGs スタートアップ	SDG s 宣言・ 登録・認証	SDGs強化·促進 人的支援	ユニバーサル ツーリズム	生涯活躍のまち	SDGsの 啓発、教育
中小企業版 SDGs経営	女性活躍推進	削減と 持続可能な リサイクル化	病気療養からの 就労	誰一人 取り残さない テクノロジー	島嶼SDGs
防テク	人的資本経営	AI技術	地方創生制度活用	環境経営·SDG s 経営	SDGs人材育成

·SDGsを原動力とした地方創生が地方創生SDGs

持続可能なまちづくり地域活性化に向けた取組



SDGsの理念



政策の全体最適化 地域課題解決の加速化

・官民連携は課題解決の有効な手段

(地域課題やニーズの複雑化・グローバル化等)



… 自治体単独では困難だった課題の解決につながる可能性



… 技術・ノウハウの活用、社会的評価の向上などビジネスチャンス

地方創生SDGs官民連携プラットフォーム

マッチング支援

分科会活動



情報収集、アイデア募集の段階でも大丈夫!

まずは課題登録から!

とにかく聞いてみることも大切

民間

新たな地域課題が随時掲載!

積極的な解決策提案を!

ニーズに寄り添いましょう

- 関心のあるテーマがあれば 積極的に参加をしてみましょう!
- 今年度新たな分科会の設置を 申請することも可能です!
 - ※分科会の設置申請…9月30日まで

地方創生SDGs官民連携プラットフォーム





気軽に事務局までお問い合わせください!

地方創生SDGs官民連携プラットフォーム運営事務局

メールアドレス: info@mail.future-city.go.jp

地方創生 SDGs 官 ※ 民連携 プラットフォーム 🎏 🖺



令和7年度 第1回 官民連携講座

第2部

課題解決へ向けた第一歩!

プラットフォームを活用してみよう

内閣府地方創牛推進事務局

1. 課題 (ソリューション) を登録してみよう

2. 伴走支援窓口に相談してみよう

意見交換(マッチング)までの流れ

全会員共通

他会員に知ってもらう (自団体のPR)

団体プロフィールの登録

- 団体の基本情報
- 関心のあるテーマ、実績 など
- ※登録内容が会員検索時のキーワード

各項目を入力していただくことで、 検索されやすくなりますので、登 録内容の確認・アップデートをお 願いします。

自治体

地域課題の登録

解決したい地域課題の背景、期待する提案 など

解決策の提案を受ける

民間団体からの提案を受け、内容確認可能

提案に対し回答する

- 提案への回答(意見交換希望/見送り)
- 連絡先交換(意見交換希望の場合)

民間団体

地域課題の検索

カテゴリー、地域、フリーワード などから課題検索

解決策の提案

- 地域課題に対し、解決策を提案
- 運営事務局の確認・承認後、課題主に届く

提案結果の確認

- 課題主からの検討結果 (意見交換希望/見送り)
- 連絡先交換(意見交換希望の場合)

マッチング成立!

操作1. ログイン~課題登録開始の画面まで



















操作2.タイトル・カテゴリの設定



障がい者福祉

地域活性化

□ 地域情報・行政情報発信
□ ふるさと納税・企業版ふるさと

文化・コミュニテイ対策

移住・定住

生活福祉

企業誘致

□ 起業支援 □ 雇用維持・創出

農林水産業振興

男女共同参画

産業振興

男女共同参画



ここで設定したタイトルが一覧に表示されます! 会員に興味を持って見てもらうため、

わかりやすいタイトルをつけましょう!

🦞 Point 🦞

カテゴリを絞って検索されるケース

があります!

最大3つまで選択可能。

複数設定しておくと

検索されやすくなります!

操作3.課題(ソリューション)の内容の記入



Point

詳細に書かなくても大丈夫!

- ①課題の内容②現在の取組
- ③どのような提案を期待しているか について記載してください。

なお、詳細に記載することで、

よりニーズに合った提案を

受けられる可能性があります。

まずはどのような課題があるか、

記載してみてください!

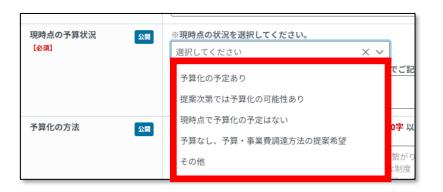
企業
業

ソリューション内容 (必 31)	公園	**ソリューションの内容を 400字 以内でご記載ください
図・写真	公開	*課題の補足情報として、5MB以下の図又は写真が添付可能です。+ ファイルを選択 × キャンセル
連携希望先 [必須]	公開	**複数選択可

ソリューション内容について記載してください。 図や写真などを掲載いただくことも可能です。

操作4.目標値や予算についての記入





Point

課題登録にあたり、

必ずしも予算化されている

必要はありません!

プルダウンから現在の予算状況を選択し、 必要に応じてコメントを記入してください。

現在、予算化の予定や具体的な 検討がない状態でも

課題登録することで情報交換に繋がります!

課題解決に向けた一歩になるかも?

操作5. 目指すSDGsゴールの選択





本プラットフォームの特徴のひとつ!

SDGsゴールを絞って

検索されるケースがあります!

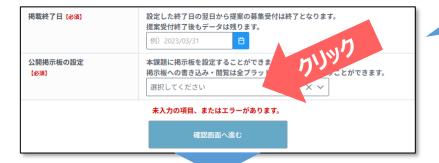
複数選択可能なので、

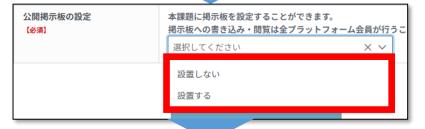
当てはまるものを選択しましょう!

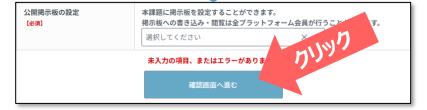


操作6. 掲載期間終了日の選択









Point

掲載終了日を設定してください。

終了日を過ぎた課題は提案受付を終了します。

また、公開掲示板を設置すると、

課題に対するやり取りを他の会員も

閲覧することができます。

公開・非公開は任意で選択してください。

入力が完了したら、「確認画面へ進む」

企業・団体の場合



🦞 Point 🦞

ソリューションの補足やURLを掲載可能!

また、導入費用について掲載できます。

導入費用は自治体も関心が高いので、

わかりやすくご記載ください!

操作7. 登録内容確認



登録内容を確認し、問題なければ登録・更新



登録OK!

- 登録内容確認画面は印刷が可能! → ◎決裁が必要な場合などに添付
- 本登録の前に一時保存が可能! → ○内部で確認が必要な場合に
- 後で内容の修正が可能!

→ ◎修正・追記などの対応が柔軟に

カテゴリの選択

- ・地域課題のカテゴリを選択
- ・ご自身の担当業務領域に近いものでもOK!

課題内容

- ・箇条書きでもOK!
- ・担当領域・地域などで今困っていることを、まずは書き出す

現在の取組

・もしまだ何も取り組んでいない場合は、 「現在、具体的な取組はしていない」としてください

提案者に期待すること

・必ずしも予算化されていなくて大丈夫です!

予算状況

・予算化の予定や検討が進んでいなければ、その旨を記載してください

タイトル

登録!!

- ・ここまで書き出した内容をもとにすると、 タイトルがつけやすくなります!
- ・すぐにタイトルが決まらない場合、まずは課題の書き出しを

<例>

A市では、鉄道沿線地域の開発に伴い、駅周辺地域の子育て世代の移住が増加しているが、育児をしながら働ける場が少なく、仕事と子育ての両立に応えられる環境が不足している。

子育て中の方も安心して働ける場や、多様な働き方を実現できるような機会がないということに課題感を持っており、解決できるようなノウハウがあれば知りたい。

タイトル	子育て世帯などの多様な働き方の実現に向けた提案募集		
カテゴリ	地域振興·交流 母子支援策 教育施設整備		
解決したい課題内容	鉄道沿線地域の開発に伴い、駅周辺地域の子育て世代の移住が増加しているが、育児をしながら働ける場が少なく、仕事と子育ての両立に応えられる環境が不足している。 子育て支援施策の一つとして、多様な働き方のニーズにこたえられるような仕組みを構築することが課題となっている。		
課題に対する現在の取組	課題感を持っているものの、具体的に取り組んでいるものはない。		
提案者に期待すること	子育て中の方も安心して働ける場や、多様な働き方を実現できるような提案を募集したい。		
現在の予算状況	現時点で予算化の予定はない		
予算化の方法	解決手法や各種国庫補助金の活用なども含め、提案次第で予算化を検討したい。		
目指すSDGsゴール	3 すべての人に		

目次

1. 課題登録してみよう

2. 伴走支援窓口に相談してみよう

操作1. 伴走支援窓口



操作2. 支援事例



Point

主に自治体からの相談を 受け付けていますが、もちろん 企業・団体からの相談もOKです!

Point

現在、伴走支援事業者は3者!
それぞれ支援事例を公表しているので、 選ぶ参考にしてください。 とはいえ、「わからない」という場合は、 まずは3者すべてに相談することも 可能です!

操作3. 支援依頼事業者を選択



Point

支援を受けたい事業者を選んだら、「依頼・相談はこちら」をクリック!

相談内容や事業者によって有償となる場合があります。

必ず、相談開始時に事前に各事業者へご確認ください!

官民連携の「わからない」や「不安」があれば、まずは相談!

操作4. 相談内容の入力





🦞 Point 💡

官民連携について抱えている

悩みや不安、質問をご記入ください。

伴走支援事業者が皆さんに

寄り添って対応します!

その他の機能など

• 同じ課題を抱えている自治体がすでに 課題登録をしている!



課題をフォロー

→既に登録されている課題に相乗りして 解決策の提案を受けられる機能

• 既に登録されている課題の内容を 参考に課題登録したい!



課題引用登録

→既に登録されている課題の内容を引用し、 課題を登録することができる機能

課題を作成する前段階で、気軽に悩み事の相談や、情報の提供を企業に呼びかたい!



官民連携チャットルーム

→プラットフォームのオープンチャットで 会員向けに情報交換を呼びかけられるチャット機能

ほかにも、「こんな機能があったらいいな」があれば、お知らせください!

利用ガイダンスのご案内





資料一覧				
NO	資料	補足	ファイル形式	
1	会員活動の手引き		PDF	
2	利用ガイダンス(詳細)		PDF	
3	分科会運営の手引き		PDF	
4	分科会規程		PDF	
5	連携事例報告シート		Excel	
6	後援等名義に関する規程		PDF	
7	後援等名義申請および行事等の収支予算書	様式7-1、7-2	Word	
8	後援等名義使用に係る事業報告書及び行事等の収支決算書	様式7-3、7-4	Word	
9	分科会実施計画書ひながた (概要)		PowerPoint	
10	分科会活動報告書 (概要)		PowerPoint	
11	退会届	様式12	Word	
12	団体名称変更申請書	様式13	Word	

ログイン後、 マイページの ユーザーメニュー から取得可能

地方創生 SDGs 官 ※ 民連携 プラットフォーム





































気軽に事務局までお問い合わせください!

地方創生SDGs官民連携プラットフォーム運営事務局

メールアドレス: info@mail.future-city.go.jp

9月4日 13:00~16:00 大阪府大阪市 梅田スカイビル



みなさまのご参加をお待ちしております!!